

出典データ	
背景図	横浜市建設局都市計画基本図データ(地図レベル2500)により作成
河川	横浜市下水道局(現環境局) 河川図(平成16年12月)
浸水想定区域	鶴見川水系浸水想定区域図(平成26年8月指定)
急傾斜地崩壊危険区域	横浜市建設局 急傾斜地崩壊危険区域図(平成28年4月現在)
土砂災害警戒区域	横浜市建設局 土砂災害警戒区域図(平成28年7月現在)

**保存版**

## 緑区洪水ハザードマップ

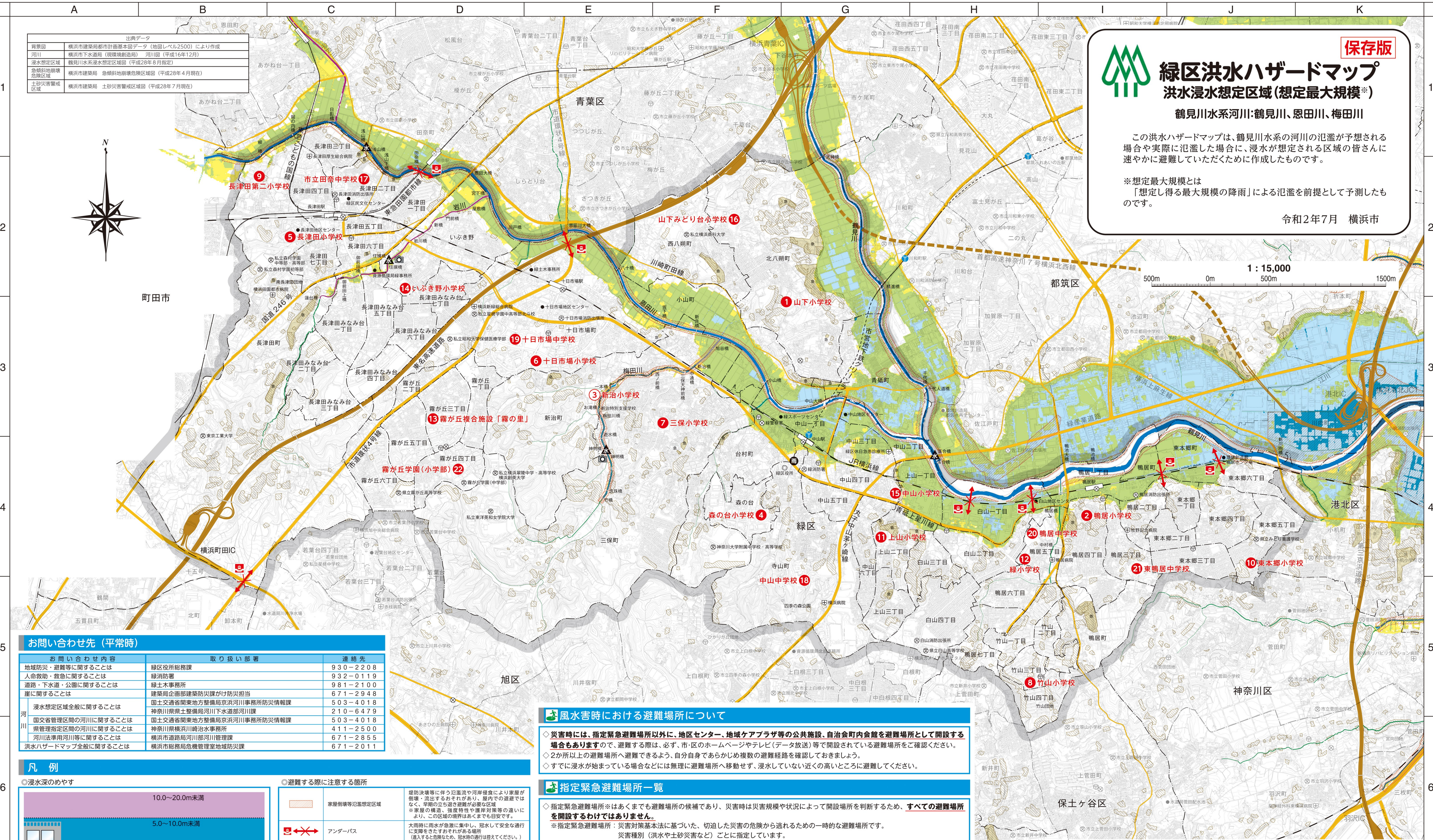
### 洪水浸水想定区域(想定最大規模※)

鶴見川水系河川:鶴見川、恩田川、梅田川

この洪水ハザードマップは、鶴見川水系の河川の氾濫が予想される場合や実際に氾濫した場合に、浸水が想定される区域の皆さんに速やかに避難していただくために作成したものです。

※想定最大規模とは「想定し得る最大規模の降雨」による氾濫を前提として予測したものです。

令和2年7月 横浜市



#### お問い合わせ先(平常時)

お問い合わせ内容	取り扱い部署	連絡先
地域防災・避難等に関することは	緑区役所総務課	930-2208
人命救助・救急に関することは	緑消防署	932-0119
道路・下水道・公園に関することは	緑土木事務所	981-2100
崖に関することは	建築局企画部建築防災課がけ防災担当	671-2948
浸水想定区域全般に関することは	国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所防災情報課	503-4018
	神奈川県土木整備局河川下水道部河川課	210-6479
国交省管理区間の河川に関することは	国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所防災情報課	503-4018
県管理指定区間の河川に関することは	神奈川県横浜河川治水事務所	411-2500
河川法適用河川等に関することは	横浜市道路局河川部河川管理課	671-2855
洪水ハザードマップ全般に関することは	横浜市総務局危機管理室地域防災課	671-2011

#### 凡例

◎浸水深のめやす

10.0~20.0m未満	5.0~10.0m未満	3.0~5.0m未満	2階部分まで浸水する深さ	0.5~3.0m未満	1階天井をこえて浸水する深さ	0.0~0.5m未満	おとなの膝まで浸かる深さ
--------------	-------------	------------	--------------	------------	----------------	------------	--------------

◎避難する際に注意する箇所

家屋倒壊等氾濫想定区域	大雨時に雨水が急激に集中し、冠水して安全な通行に支障をきたすおそれがある場所(侵入する危険なため、避難の進行を控えてください。)
アンダーパス	冠水により相当数の居住者等に危険が生ずるおそれがある急傾斜地。避難の際が助舟・誘致されいようにするために切土・盛土などの一定の行為を制限する必要がある土地で、急傾斜地法に基づき神奈川県が指定する区域。(平成28年4月現在)
急傾斜地崩壊危険区域	
土砂災害警戒区域	

◎指定緊急避難場所一覧

No.	指定緊急避難場所	所在地	位置
1	山下小学校	北八朔町1865-3	G-3
2	鶴居小学校	鶴居4-7-15	I-4
3	新治小学校	新治町768	E-3
4	森の台小学校	森の台13-1	F-4
5	長津田小学校	長津田町2330	C-2
6	十日市場小学校	十日市場町1392-1	E-3
7	三保小学校	三保町1867	F-3
8	竹山小学校	竹山3-1-16	H-5
9	長津田第二小学校	長津田町2469-3	B-2
10	東本郷小学校	東本郷5-40-1	J-4
11	上山小学校	上山2-5-1	G-4
12	緑小学校	鶴居5-19-1	H-4
13	霧が丘複合施設「霧の里」	霧が丘3-23	D-3
14	いぶき野小学校	いぶき野14-1	D-2
15	中山小学校	中山4-16-1	G-4
16	山下みどり台小学校	北八朔町2031-3	F-2
17	田奈中学校	長津田2-24-1	C-2
18	中山中学校	寺山町653-21	G-5
19	十日市場中学校	十日市場町1501-42	D-3
20	鶴居中学校	鶴居5-12-35	H-4
21	東鶴居中学校	鶴居3-39-1	I-4
22	霧が丘学園(小学部)	霧が丘4-3	D-4

◎その他の河川(横浜市管理) ※市街化区域のみ

一級河川(国土交通省管理区間)	一級河川(横浜市管理区間)	河川法適用河川(横浜市管理)	その他の河川(横浜市管理)
浸水想定区域作成対象河川(鶴見川、矢上川、早瀬川、島山川)	浸水想定区域作成対象河川(鶴見川、早瀬川、大瀬川、島山川)	河川法適用河川(横浜市管理)	その他の河川(横浜市管理)
一級河川(神奈川県管理区間)	一級河川(横浜市管理区間)		
浸水想定区域作成対象河川(鶴見川、早瀬川、大瀬川、島山川)	浸水想定区域作成対象河川(鶴見川、早瀬川、大瀬川、島山川)		

#### 風水害時における避難場所について

◇災害時には、指定緊急避難場所以外に、地区センター、地域ケアプラザ等の公共施設、自治会町内会館を避難場所として開設する場合がありますので、避難する際は、必ず、市・区のホームページやテレビ(データ放送)等で開設されている避難場所をご確認ください。

◇2か所以上の避難場所へ避難できるよう、自分自身であらかじめ複数の避難経路を確認しておきましょう。

◇すでに浸水が始まっている場合などには無理に避難場所へ移動せず、浸水していない近くの高いところに避難してください。

#### 洪水浸水想定区域(想定最大規模)はどうやって決めたの?

こちらの面の洪水浸水想定区域の範囲やその深さは、想定し得る最大規模の降雨(2日間で約792ミリ)を前提として、川の水があふれた場合や堤防が壊れた場合をシミュレーションにより予測したものです。

(横浜地方気象台では、平成26年10月5日から6日にかけて352ミリの降雨を観測しています。)

なお、この洪水浸水想定区域は、前提となる降雨を超えるような大雨、下水道等からの浸水、水路の氾濫等を考慮していませんので、着色されていない区域でも浸水が発生する場合があります。

※1 国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所ホームページ  
([https://www.ktr.mit.go.jp/keihin/keihin\\_index070.html](https://www.ktr.mit.go.jp/keihin/keihin_index070.html))

※2 横浜地方気象台ホームページ  
(<https://www.jma-net.go.jp/yokohama/8.html>)